

## 稲葉健二のコラム

『優先順位』という言葉はとてもわかりやすい言葉ですが、その当事者になった場合には、どのような基準で決めたのか、公平性は保たれているのか議論になります。どの方も、少しでも自分の立場を理解してもらいたいと思うことは自然のことだと思います。

例えば市営住宅などに入居を希望している方がいて、自分の困窮度が一番だと主張する方も多くいるそうです。昔と違い、今は、基準表をもとに点数をつけて待機の順番を決めています。その順位により入居の順番がまわってきます。昔は抽選をしたりすることが公平性という時代もありました。今は、市営住宅、保育園の入園、放課後保育クラブの入所などいろいろなところで基準をもとに『優先順位』を算定して順番をつくります。各自に理解してもらうために説明もせずし一部基準も公開しています。

今回保育園の入所の基準表の公開について質問をしたことも、このような経緯からです。入園を希望している保護者にとって少しでも早く入園させたい、と思う度合いは感情では測ることができません。その切迫度や必要性を一定の基準で平等に判定することが必要となるわけです。もちろん、緊急性がでたときには加算されることで順位も動いていきますし、余裕のある方は少しお待ちいただくことになるわけです。

私たち議員は皆さんの付託を受けて活動をしています。市民の方たちにより良い生活ができるように考えています。どの方も平等に権利を受けれるように努力していますが、なかなか思うようには期待に答えられません。しかし、議員として言ったからには責任を負うこととなります。誰でも喜ぶようなことを言うことは簡単ですが、現実や現場を知って、時には嫌われることを言うことにもなるのです。ここで言いたいことは、議員は理想像だけというのはなく、時には無理であるということもしっかりと説明する必要があると思っています。期待をさせるようなことを言って、いい人になることとしっかりと現実を説明して理解してもらうことも、両方大事ではないでしょうか。いつか書きましたが議員は何でもできるわけではありません。しかし、皆さんのため、市川市のために働きます。私は目標に向けての努力は惜しみませんが、いいことばかり言う議員にはなれない気がします。

地に足をつけて、一つ一つ歩みを進む議員を目指してこれからも活動していきたいと思っています。よろしくお願い致します。



「意見・要望等お気軽にご相談！」



市川市議会議員

# 稲葉健二の 一言メッセージ

26

平成21年1月1日発行  
稲葉健二事務所  
272-0021  
市川市八幡 2-2-10  
TEL 047-333-1783  
FAX 047-334-1990  
URL www.inaba-kenji.jp  
MAIL kenjiinaba@aol.com

## 指定管理者の特集です。

皆様新年明けましておめでとうございます。私達議員は公職選挙法により、年賀状を出すことに制限がありますので、この場をお借りしてご挨拶させていただきます。今年も頑張ってくださいませのでよろしくお願ひ致します。

今回の特集は、前号でも一部ふれましたが、指定管理者のことを特集します。法律の改正で市の施設の管理や委託業務は民間に開放するようにする国の施策により直営（市の職員での管理運営）か指定管理者の指定（市以外の団体などによる管理運営）となります。この議会では来年度以降の指定管理者の指定議案が多くありました。主のものは前号で特集した、放課後保育クラブ（学童）を市川市社会福祉協議会に指定する議案、文化会館や市民会館や行徳公会堂などの文化施設を文化振興財団に指定する議案、そして一番論議を呼んだのは、市川駅の南口に新しく開設される図書館を直営ではなく、民間の運営に委ねるかどうかの議案でした。新聞にも一部掲載されましたが、今までの図書館は全て市の職員で運営されていました。この新しい図書館は中央図書館が主たる業務（選書やリファレンス等）を管理し、通常の運営は民間に委ねるという議案でした。民間に委ねることにより市は年間一千万円の経費削減が見込めることと、開館の時間を駅前という立地から夜間までにすることが民間であることで容易であるとのことでした。この意見に反対の方たちの意見は、市川市の図書館レベルの優れている部分を民間では期待できないとのことでした。私が委員長をしている、環境文教委員会でも多くの議論が行われ、委員会の採決は一票差で否決という結果となりました。しかし議場での採決は賛成多数で採択されました。ここで何を言いたいのかというと私は採択に賛成です。費用を削ることが全てではありませんが、指定管理者を選ぶ段階で精査すれば民間でも十分対応できると思っています。市の職員でなければできない業務とちゃんとすみ分けすれば問題ないと思っています。現実に、放課後保育クラブを委託している市川市社会福祉協議会は市の職員ではありませんが素晴らしい運営をしています。文化会館などを委託している文化振興財団も然りです。時代とともに委託する事業や内容を検討し考えていくことも市民のためであると思っています。その上で費用効果が生まれればその部分をより良い施策に使うべきであると思います。



市川駅行政サービスセンター

## 市川市の情報コーナー

急病時の医療機関ダイヤルができました。 0377-9911

議会でも何回も質問し開設をお願いしていた、24時間対応の病院案内が開設されました。24時間完全ではありませんが、電話をかけて人が出て、今受診できる病院を案内してくれるというものです。緊急のときに案内テープでは落ち着きがなくなりまして、また、状況を聞いてもらってから行き先を聞けることとなります。時間帯によっては一部テープが流れますがかなり改善されています。本当は使うことがないことが一番ですが、いざという時に利用してください。

### 市川駅の南口に 行政サービスセンターが開設予定

市川駅の南口再開発ビルの中に行政サービスセンターが開設する予定です。アイリンクホールなど市民の方たちが使える部屋やホールもできます。行政サービスの窓口も夜間開設も予定しているので便利になります。

### 前号の一部訂正です

前号の子どもの居場所の特集の中で、一部写真が文字にかぶって消えていました。ご指摘を下さった方もいらっしやいました。申し訳ありませんでした。下から7行目の部分です。「大事ですが、」の後に、『少しでも早くお迎え』という言葉が入っています。

# 平成20年12月定例議会報告

平成20年12月定例議会が、11月28日～12月16日まで開催されました。下記の内容で一般質問を行い、真摯な御答弁をいただきました。質問の要旨を掲載いたしました。詳しくは、市議会のいちかわインターネット放送局で録画放送をご覧ください。

市川市議会 録画放送 12月8日へとお進み下さい。直接は <http://ibs.city.ichikawa.chiba.jp/ibsw eb/topPage.do?id=673>

## 一般質問の主な内容は、

### 市川市保育園入園事務について

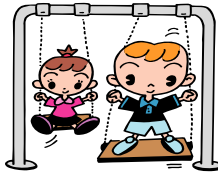
- (1) 保育実施基準表の公開について
- (2) 今後の考え方について

現在保育園に入園を希望しても保護者の希望通りに入れるとは限りません。毎年新しい保育園が開園して待機児童の数が減っても、新たな希望が発生することにより解消にはいたりません。そのような状況の中、どの保護者の方も早く希望の保育園に入園したいと思うわけですが、問題になるのは待機の順番です。各家庭の就労の状況や家庭内の状況を1つの基準を作って公平性をもつことにより、誰もがわかりやすく基準をつくっています。

この基準表を公開することにより、自分の状況も点数により把握し、他の方たちとの順番をわかりやすくする必要をお聞きしました。今年の4月からこの基準で行われているようですが公開は個人の希望により公開をしていました。今後の公開の方法と、インターネットなどによる待機状況を公開することによって、今の位置と今後の判断がしやすくなるのではないかと質問しました。

ご答弁は、公平性を考えて基準表をつくって運用をしている、今後は公開の方法や入園を希望する保護者がわかりやすくうけとめれるように考えて行きたいとのことでした。

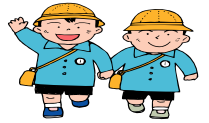
社会情勢も変り就労の必要性も時代とともに変わってきました。保育園に入園を希望する方たちに少しでも力になれるような方法や施策を考えて応援できるように頑張っています。



### 市川市私立幼稚園補助金について

- (1) 振興費補助金の教材費の必要性について
- (2) 預かり保育促進、拡充への助成について
- (3) 公立で実施している家庭教育学級と同様の施策を私立で行うための補助金について

市川市では私立幼稚園に対していろいろな形で補助金を保護者の方や幼稚園に対して行っています。その補助金の中で今回は数点しぼって質問をさせていただきました。まず、教材費の補助金ですが、園ごとに集めている金額や内容は様々ですが、今年からやっと三歳児まで出しているようになりましたが、その金額は月に子ども一人に133円強です。現在いるようなものが高騰している中で少しでも子どもたちに良い教材を多く与えたいと思っています。また、現在私立幼稚園全ての園で行われておりませんが、預かり保育を実施しています。保護者の用事があるときやリフレッシュなどに活用できるように市が一部人件費を負担しています。この人件費の負担分の増額の要望はもとよりですが、預かる環境の整備にも助成ができないがお聞きしました。単に子どもを延長して保育することではなく、預けられた子どもも通常の保育時間とは違うかたちで預かってもらうことによりストレスを感じないでいられるのではないかと考えています。そして、現在公立の幼稚園でも予算をつけて連携しながら子育ての支援や相談などを行えないか質問しました。ご答弁は、補助金は予算の範囲の中で単価などを考えていきたい。また、家庭教育学級は、公立と情報交換などをスタートに連携して行きたいとのことでした。



### 本八幡A地区市街地再開発について

- ・ 進捗状況について

現在市川市では市川駅南口の再開発も終盤をむかえている中、残る大規模な市街地再開発は本八幡A地区となりました。過去に何回か質問をさせていただいております。今回進捗状況をお聞きしたのは、世界経済も含めて現在の日本の状況を考えた判断、資材などの高騰に直面している中、今後の計画は大丈夫なのか、資金計画なども含めてお聞きしました。

単純に考えても、最初の計画と比べて状況は変わってきていると思います。市の補助金を使う事業でもあり、また、この地域に避難地としても使える空間の確保や地域の再整備にとっても大事な事業でもあります。京成八幡駅、都営地下鉄本八幡駅、JR本八幡駅の三駅の結節点となる大規模な再開発です。バリアフリーなどの再整備も含めて期待するところは多くあります。

ご答弁は、事業の進捗状況により、補助金などの年度の繰越などを考えていくことも必要となる。また、建築費用の試算状況も現在の資材などの事情も含めて考え、保留床の処分の計画なども含めて総合的に組合と話し合って支援していきたいとのことでした。

大きなビルができることによる課題も確かにあると思いますが、それ以上に地域が得るメリットも考えながら、ただのビル建設にならないように、また再開発の良い点を出せるように見守って行きたいと思っています。



### 市庁舎周辺の交通安全対策について

- (1) 市庁舎前の国道14号の信号機増設の考え方について
- (2) 周辺の具体的な安全対策の考え方について

市庁舎の前の国道14号で交通事故がここ一年に二件ありました。二件とも人身事故でした。現在市庁舎の前は信号機つきの横断歩道が一箇所だけです。しかし、皆さんご存知のように、横断歩道のないところを横断する人が多いのが現状です。特に、郵便局の脇の道と市庁舎の脇の道をはさむところは、その先にある踏み切りに向かう方も多いのでかなりの方が横断しています。この場所に信号機をつけてもらえないか質問しました。ご答弁は、事故の後、警察と現地調査を行い必要性も認識している。市長名で要望書も警察に提出しているとのこと、今後積極的に活動していくとのことでした。また、今の歩道橋も利用者が少ないので撤去して、やはり信号機つきの横断歩道をつけられないかお聞きしました。この部分は国道の拡幅などのときに考えてみたいとのことでした。また、神社の前の踏み切り(八幡3号)ですが、せまい踏み切りですが利用する車は一日三千台近くになります。歩行者と車道は分離してありますが、せまいため自転車との交差などは難しい状況です。踏み切りを拡幅することにより、安全に踏切を渡れるようにできないかとの質問には、京成電鉄と交渉して行きたいとのことでした。この踏み切りを渡って国道までの道路は葛飾八幡宮の参道(私道)であります。国道までの部分は双方向通行となっており、よく一方通行と間違えられトラブルとなります。私道をメイン道路としなければならない市川市の道路事情を理解していただき、皆さんの協力をお願いします。

